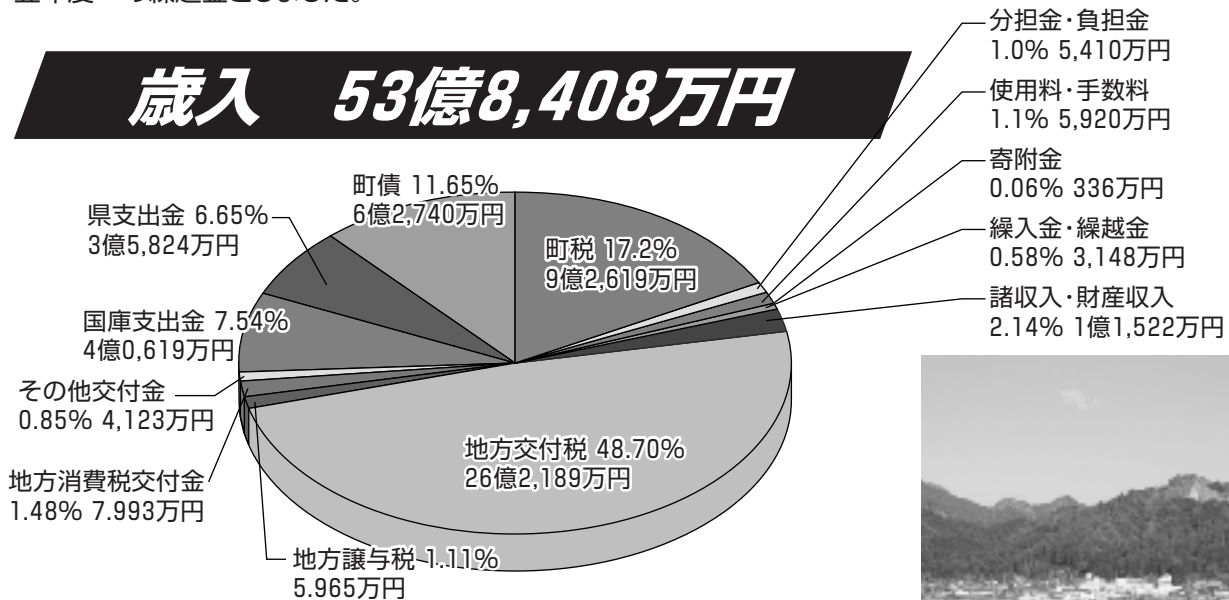


# 平成24年度下仁田町の財政状況をお知らせします

## ■一般会計決算の状況

平成24年度の一般会計の歳入総額は53億8,408万円、歳出総額は52億9,608万円で、前年度と比較して歳入が2.8%の減、歳出で3.2%減となりました。歳入歳出差引額は8,800万円となり、繰越事業に充当する3,772万円を差引いた実質収支額は5,028万円の黒字となっています。このうち財政調整基金に4,000万円を積立てし、1,028万円を翌年度への繰越金としました。



## ■一般会計歳入決算額の内訳

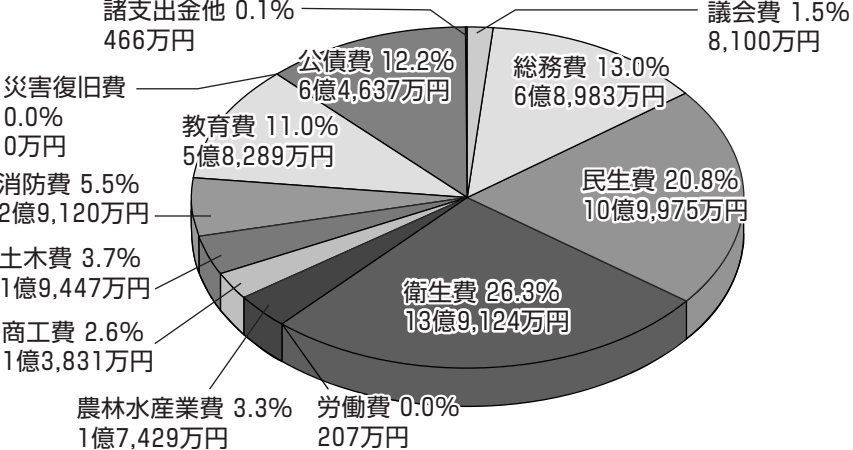
区分	H24年度決算額	構成比(%)	H23年度決算額	構成比(%)	前年比(%)
町税	9億2,619万円	17.20	9億3,958万円	17.0	△ 1.4
地方譲与税	5,965万円	1.11	6,404万円	1.2	△ 6.9
利子割交付金	179万円	0.03	199万円	0.1	△ 10.1
配当割交付金	155万円	0.03	152万円	0.0	2.0
株式等譲渡所得割交付金	48万円	0.01	37万円	0.0	29.7
地方消費税交付金	7,993万円	1.48	8,419万円	1.5	△ 5.1
ゴルフ場利用税交付金	1,566万円	0.29	1,590万円	0.3	△ 1.5
自動車取得税交付金	1,915万円	0.36	1,409万円	0.3	35.9
地方特例交付金	111万円	0.02	1,882万円	0.3	△ 94.1
地方交付税	26億2,189万円	48.70	22億8,788万円	41.3	14.6
交通安全対策特別交付金	149万円	0.03	141万円	0.0	5.7
分担金・負担金	5,410万円	1.00	6,181万円	1.1	△ 12.5
使用料・手数料	5,920万円	1.10	5,837万円	1.1	1.4
国庫支出金	4億0,619万円	7.54	5億4,709万円	9.9	△ 25.8
県支出金	3億5,824万円	6.65	3億8,907万円	7.0	△ 7.9
財産収入	455万円	0.08	1,046万円	0.2	△ 56.5
寄附金	336万円	0.06	240万円	0.0	40.0
繰入金	278万円	0.05	150万円	0.0	85.3
繰越金	2,870万円	0.53	1,664万円	0.3	72.5
諸収入	1億1,067万円	2.06	1億1,279万円	2.0	△ 1.9
町債	6億2,740万円	11.65	9億0,730万円	16.4	△ 30.8
合計	53億8,408万円	100.00	55億3,722万円	100.0	△ 2.8



## 歳出 52億9,608万円

**町民1人当たりが納めた税金**  
**10万5千円**

**町民1人当りに使われたお金**  
**60万1千円**



### ■一般会計歳出決算額(目的別)の内訳

区分	H24年度決算額	構成比(%)	H23年度決算額	構成比(%)	前年比(%)
議会費	8,100万円	1.5	9,256万円	1.7	△ 12.5
総務費	6億8,983万円	13.0	7億5,015万円	13.7	△ 8.0
民生費	10億9,975万円	20.8	11億0,317万円	20.2	△ 0.3
衛生費	13億9,124万円	26.3	9億2,970万円	17.0	49.6
労働費	207万円	0.0	207万円	0.0	0.0
農林水産業費	1億7,429万円	3.3	2億0,706万円	3.8	△ 15.8
商工費	1億3,831万円	2.6	1億5,903万円	2.9	△ 13.0
土木費	1億9,447万円	3.7	1億6,986万円	3.1	14.5
消防費	2億9,120万円	5.5	3億7,987万円	6.9	△ 23.3
教育費	5億8,289万円	11.0	10億7,598万円	19.7	△ 45.8
災害復旧費	0万円	0.0	179万円	0.0	△ 100.0
公債費	6億4,637万円	12.2	5億9,704万円	10.9	8.3
諸支出金	466万円	0.1	524万円	0.1	△ 11.1
合計	52億9,608万円	100.0	54億7,352万円	100.0	△ 3.2

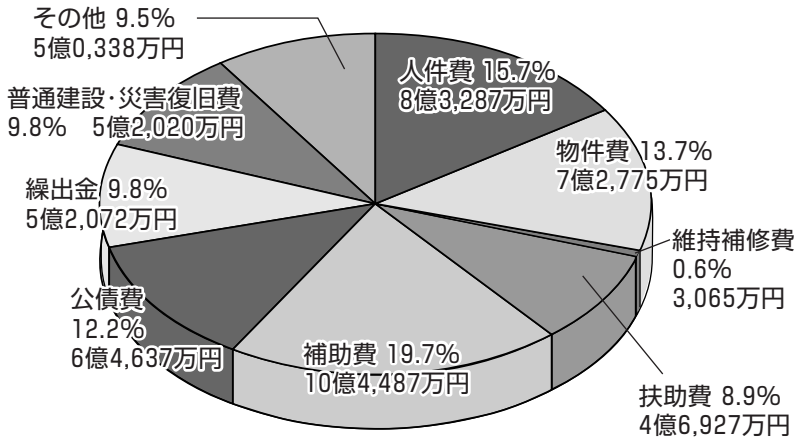
人 口 8,815人 (平成25年3月31日現在)

**歳入歳出差引額 8,800万円**

財政調整基金積立	4,000万円
翌年度繰越金	1,028万円
繰越事業分繰越金	3,772万円

## ■一般会計性質別歳出決算額の内訳

区 分	H24年度決算額	構成比(%)	H23年度決算額	構成比(%)	前年比(%)
人 件 費	8億3,287万円	15.7	8億8,467万円	16.2	△ 5.9
物 件 費	7億2,775万円	13.7	5億8,751万円	10.7	23.9
維 持 補 修 費	3,065万円	0.6	2,272万円	0.4	34.9
扶 助 費	4億6,927万円	8.9	4億9,075万円	9.0	△ 4.4
補 助 費	10億4,487万円	19.7	8億9,481万円	16.4	16.8
公 債 費	6億4,637万円	12.2	5億9,704万円	10.9	8.3
緑 出 金	5億2,072万円	9.8	5億0,870万円	9.3	2.4
普通建設・災害復旧事業費	5億2,020万円	9.8	11億2,996万円	20.6	△ 54.0
そ の 他	5億0,338万円	9.5	3億5,736万円	6.5	40.9
合 計	52億9,608万円	100.0	54億7,352万円	100.0	△ 3.2



## ■特別会計決算の内訳

会 計 名	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	差 引 額
国 民 健 康 保 険	11億9,495万円	11億7,251万円	2,244万円
後 期 高 齢 者 医 療	1億3,381万円	1億3,217万円	164万円
介 護 保 険	12億6,239万円	12億5,353万円	886万円
簡 易 水 道 事 業	1億0,718万円	1億0,373万円	345万円
浄 化 槽 整 備 事 業	6,224万円	6,174万円	50万円



▲あじさい園展望デッキ



▲中学校校庭

## ■地方債の状況（町が国等から借入れた起債）

### ◎会計別現在高

区 分	平成23年度末残高	平成24年度中		平成24年度末残高
		償還額(元金)	借入額	
一 般 会 計	55億9,344万円	5億8,079万円	6億2,740万円	56億4,005万円
公営企業(上水道・ガス)	15億1,024万円	1億1,151万円	1,230万円	14億1,103万円
簡易水道事業会計	1億7,843万円	1,419万円	1,400万円	1億7,824万円
浄化槽整備事業会計	4,739万円	272万円	1,610万円	6,077万円
合 計	73億2,950万円	7億0,921万円	6億6,980万円	72億9,009万円

### ◎目的別現在高（一般会計分）

区 分	平成24年度末残高	対 象 事 業 等
総 務 債	4億9,810万円	町民憩いの森整備、馬山運動場及び町営バス購入等
民 生 債	1,296万円	特養老人ホーム建設費負担金
衛 生 債	5億0,001万円	下仁田厚生病院改築、水道会計への出資
農 林 水 産 業 債	2億6,020万円	農林道開設改良、集会所建設等
商 工 債	1億0,469万円	遊歩道、観光看板、公園整備及び道の駅「しもにた」建設等
土 木 債	5億8,611万円	道路橋梁新設改良及び公営住宅建設等
消 防 債	3億0,058万円	防火水槽整備、消防車購入、防災行政無線施設整備等
教 育 債	11億6,155万円	義務教育施設(校舎、屋体、プール)、社会体育施設整備等
災 害 復 旧 債	5,901万円	農林業施設・教育施設及び公共土木施設災害復旧事業
そ の 他	21億5,684万円	臨時財政対策債、減税補てん債、減収補てん債等
合 計	56億4,005万円	



▲消防車（第一分団第二部）



▲スクールバス

# ■健全化判断比率及び資金不足比率

平成19年度に【地方公共団体の財政の健全化に関する法律】が制定されたことに伴い、毎年度の決算における健全化判断比率及び資金不足比率（以下「健全化判断比率」といいます。）の算定・公表が義務付けられました。

## 健全な本町の財政状況

健全化判断比率等のいずれかが基準以上となった場合には、財政健全化計画を策定し財政健全化に向けた取組が必要となりますが、平成24年度の算定結果では、全ての指標において基準値を下回りました。このことから、町の財政状況は健全な状態にあります。より一層の財政健全化を進めてまいります。

各指標の数値は、次のとおりとなっております。



## 1.健全化判断比率

### ◆実質赤字比率 = 赤字額なし

一般会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、平成24年度の一般会計の収支決算額は黒字のため該当はありません。

### ◆連結実質赤字比率 = 赤字額なし

一般会計、特別会計、公営企業会計等すべての会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、一般会計をはじめとして全会計で収支決算額が黒字のため該当はありません。

### ◆実質公債費比率 = 10.2%

一般会計などの実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、早期健全化基準の25%を14.8ポイント下回っています。

### ◆将来負担比率 = 86.9%

一般会計などが将来負担すべき実質的な負債（一般会計の借入金や土地開発公社の負債など）の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、早期健全化基準の350%を大きく下回っています。

### 下仁田町の健全化判断比率の状況

指標項目	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字額なし	11.25%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字額なし	16.25%	30.00%
実質公債費比率	10.2%	25.00%	35.00%
将来負担比率	86.9%	350.00%	

## 2.資金不足比率

### ◆資金不足比率 = 資金不足なし

各公営企業会計の資金不足額が、事業の規模に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、それぞれの会計ともに資金不足はありませんでした。

### 下仁田町の資金不足比率の状況

会計名等	資金不足比率	早期健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	20.00%
ガス事業会計	資金不足なし	
簡易水道事業会計	資金不足なし	
浄化槽整備事業会計	資金不足なし	



# 平成24年度 下仁田町公営企業決算状況

公営企業は、世帯数の減少等に伴い年々収益が減少する厳しい状況です。

常に安心・安全・安定を届けるために効率的な運営を心がけ、ライフラインの維持管理や老朽化が進む施設の更新に努めています。

## 水道事業 当年度純利益 837万円

### 下仁田町水道事業会計決算

(消費税を含みます)

収益的収入	1億7,969万円	*資本的収入が資本的支出に対して不足する額は次のとおり補てんしました。
収益的支出	1億7,201万円	当年度分損益勘定留保資金
資本的収入	4,940万円	5,243万円
資本的支出	1億897万円	建設改良積立金
不足額*	5,957万円	714万円



### 下仁田町水道事業損益計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(消費税を含みません)

営業収益	1億3,828万円	
営業費用	1億3,599万円	
営業利益		229万円
営業外収益	3,453万円	
営業外費用	2,808万円	645万円
経常利益		874万円
特別損失		37万円
当年度純利益		837万円

### 下仁田町水道事業貸借対照表

(平成25年3月31日)

(消費税を含みません)

資産の部		負債の部	
固定資産	29億4,134万円	固定負債	2,381万円
流動資産	1億2,067万円	流動負債	420万円
		負債合計	2,801万円
		資本の部	
		資本金	17億6,491万円
		剰余金	12億6,909万円
		資本合計	30億3,400万円
資産合計	30億6,201万円	負債・資本合計	30億6,201万円

## ガス事業 当年度純利益 1,109万円

### 下仁田町ガス事業会計決算

(消費税を含みます)

収益的収入	1億5,896万円	*資本的収入が資本的支出に対して不足する額は次のとおり補てんしました。
収益的支出	1億4,471万円	当年度分消費税資本的収支調整額
資本的収入	1,174万円	73万円
資本的支出	3,113万円	過年度分損益勘定留保資金
不足額*	1,939万円	1,851万円
		当年度分損益勘定留保資金
		15万円



### 下仁田町ガス事業損益計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

(消費税を含みません)

営業収益	1億4,987万円	
営業費用	1億3,957万円	
営業利益		1,030万円
営業外収益	160万円	
営業外費用	81万円	79万円
経常利益		1,109万円
当年度純利益		1,109万円

### 下仁田町ガス事業貸借対照表

(平成25年3月31日)

(消費税を含みません)

資産の部		負債の部	
固定資産	2億8,379万円	固定負債	2,014万円
流動資産	1億614万円	流動負債	1,458万円
		負債合計	3,472万円
		資本の部	
		資本金	2億 915万円
		剰余金	1億4,606万円
		資本合計	3億5,521万円
資産合計	3億8,993万円	負債・資本合計	3億8,993万円